
2017年度
環境活動レポート
2017年4月～2018年3月

発行日：2018年5月11日

豊かに快適な環境を求めて…



～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
3. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～11
 - 3-1. 環境負荷の現状（平成28年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 11
5. 指定管理施設の環境負荷について・・・・・・・・ p 13
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 14
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・ p 14
8. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・ p 15～19

株式会社エービーエムは、エービーエムエナジー合同会社を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギー事業を開始しました。（H27.9.24竣工）



ゴールデンウィークに開催される「米沢上杉まつり」。伝統あるお祭りを盛り上げようと、今年も親睦会を中心としたメンバーで「上杉甲冑行列」や「川中島の合戦」に参加協力しました。





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

平成28年6月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間 俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口 浩之
- 連絡担当者：業務部業務課課長 遠藤 雅之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：m-endo@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所

※指定管理施設については、次回更新審査時（平成30年度）までに対象に含めることとしており、平成29年度は環境負荷量を集計いたしました。

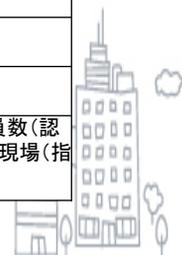
2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）、ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）

2-7. 事業の規模

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)
事業規模			
売上高(千円)	733,376	773,711	791,260
認証対象従業員数／全従業員数	216/250	229/263	234/268
従業員数:本社	38	38	38
従業員数:南陽営業所	7	7	7
床面積(㎡):本社	303.9		
床面積(㎡):南陽営業所	101.8		

※売上高は、当社会計年度(4~3月)に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。従業員数(認証対象)は、指定管理施設に常駐する者を除いた人数となります。また、本社・南陽営業所の従業員数には、業務受託現場(指定管理施設を含む)に直行直帰する従業員は含まれていません。



3. 環境目標とその実績



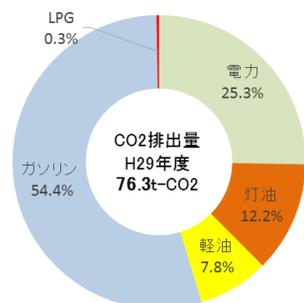
3-1. 環境負荷の現状(平成29年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

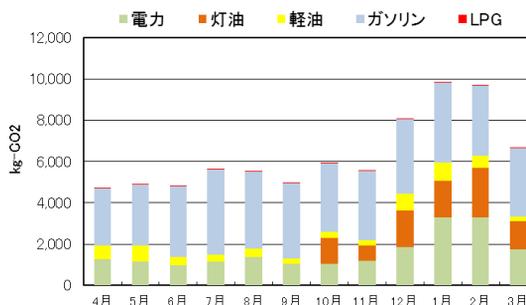
※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

- 1) 当社における平成29年度のCO₂排出量は合計76,361kg-CO₂となっており、前年度比1.0%増加しました。これは平均的な一般家庭15軒分の排出量に相当します。
(平成27年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,920kg-CO₂/出典:温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 当社から排出されるCO₂の62%はガソリン・軽油の消費に伴うもので47,516kg-CO₂(前年比1.1%増)、次いで電力の使用に伴うものが25.3%、19,290kg-CO₂(同3.1%減)、灯油の消費に伴うものが12.2%、9,347kg-CO₂(同11.3%増)などとなっています。
- 3) ガソリン、軽油は、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。H29年度はH28年度に比べて、降雪期が早く、寒い日が続いたことから、灯油・電気の使用量は増加しました。ガソリン・軽油は、月による変動にあまり特徴はありませんが、7月に軽油車両3台をガソリン車両に交換しました。
- 5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・軽油の削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。

<二酸化炭素の排出源(H29年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H29年度)>



■ 廃棄物排出量

- 1) 一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社429kg、南陽160kg、次いで紙類(再生資源)が本社284kg、南陽101.8kgなどとなりました。なお、リサイクル率は本社47.4%、南陽41.5%となっていました。
- 2) 産業廃棄物:汚泥(ワックス剥離液・洗剤廃液等)が大部分で全体の91.7%(1,840kg)を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量(水使用量)

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、564m³使用しました。前年比1.4%増加しました。なお、放流先は本社は公共用水域(浄化槽)、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)

清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあります。H29年度分の使用量は、2-アミノエタノールが0.2kg、ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテルが0.5kgでした。



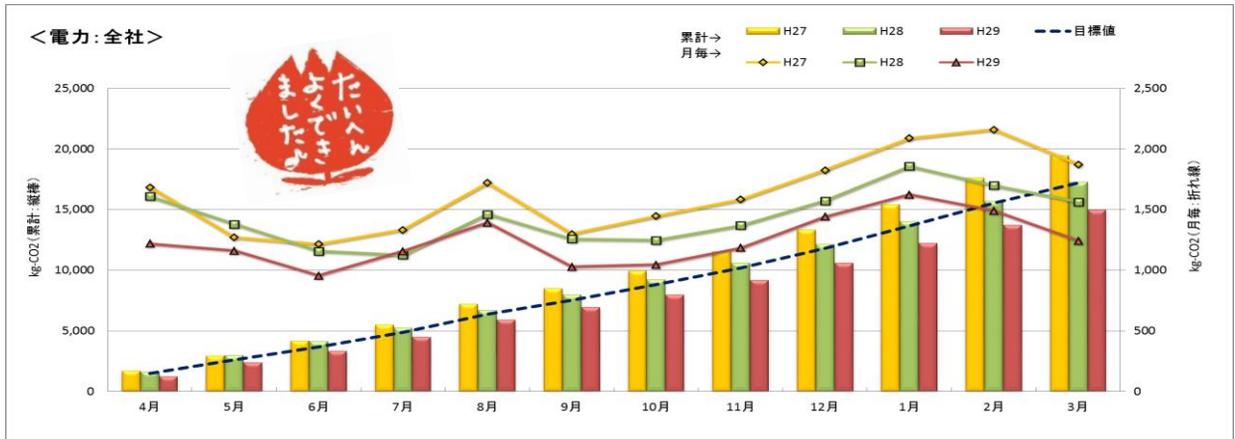
3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【H29年度目標】H27年度比11%削減
 【中期目標（H28~32）】H27年度比14%削減

※冬期間、本社の消雪用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。



【取組結果】（取組期間：H29.4~H30.3）

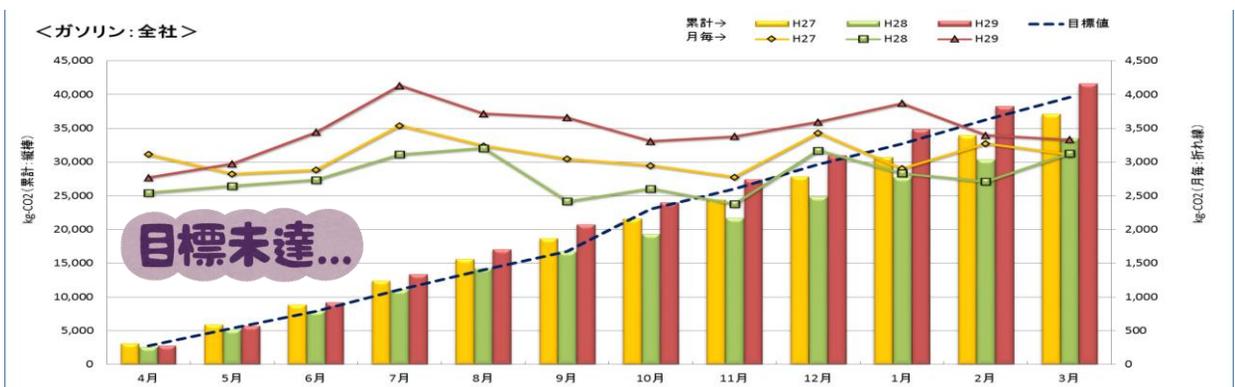
- 基準年度実績：19,492kg-CO₂
- 取組期間目標：17,211 kg-CO₂
- 取組期間実績：14,938 kg-CO₂
- 増減量：-4,554 kg-CO₂
- 増減率：-23.3%

【評価コメント】

本社23.0%減、南陽25.3%減と両サイトともに目標を十分にクリアできました。従業員の環境に対する意識の変化が見られ、省エネ活動が浸透してきたことや、営業所事務所のLED化が大きな効果を出しました。また平成28年度実施できなかった窓のプチプチ設置効果もあったのだと思います。

■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【H29年度目標】H27年度比18%削減/基準年度燃費を18%向上
 【中期目標（H28~32）】H27年度比10.2%削減する/基準年度燃費を20%向上



【取組結果】（取組期間：H29.4~H30.3）

- 基準年度実績：37,072 kg-CO₂
- 取組期間目標：33,286 kg-CO₂
- 取組期間実績：41,558 kg-CO₂
- 増減量：+4,486 kg-CO₂
- 増減率：+12.1%

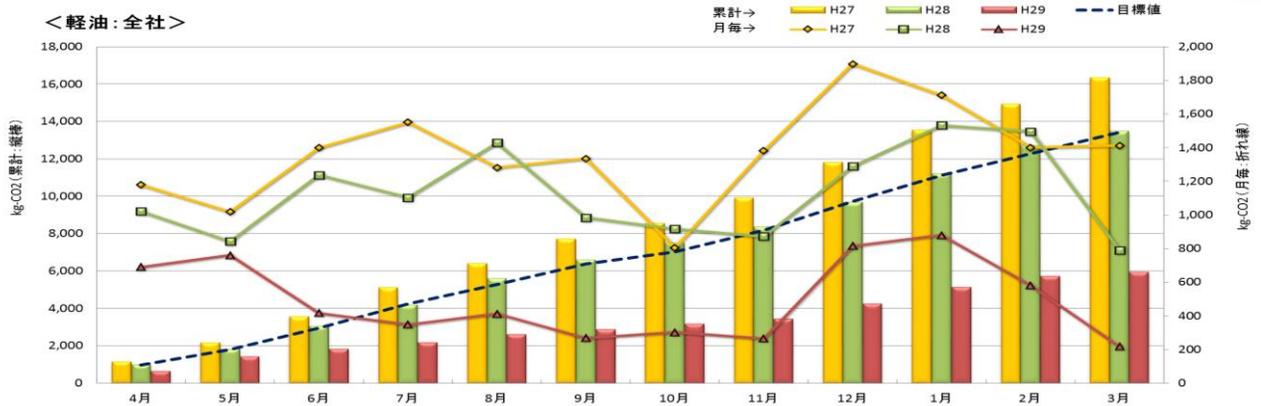
【評価コメント】

本社+5.6%増、南陽+0.1%増と両サイトともに目標を下回ってしまった。原因と考えられるのは、7月に軽油車両3台をガソリン車両に入れ替えたこと、欠員により、本社及び営業所の人員が業務車両を使用し代務に行く回数が増えた（直行直帰が減った）ため。また片道30kmの現場を新規取得するなど、現場も増えたことも原因だと思います。

■ 二酸化炭素排出量（軽油）



【H29年度目標】 H27年度比17.9%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比20.9%削減



【取組結果】（取組期間：H29.4～H30.3）

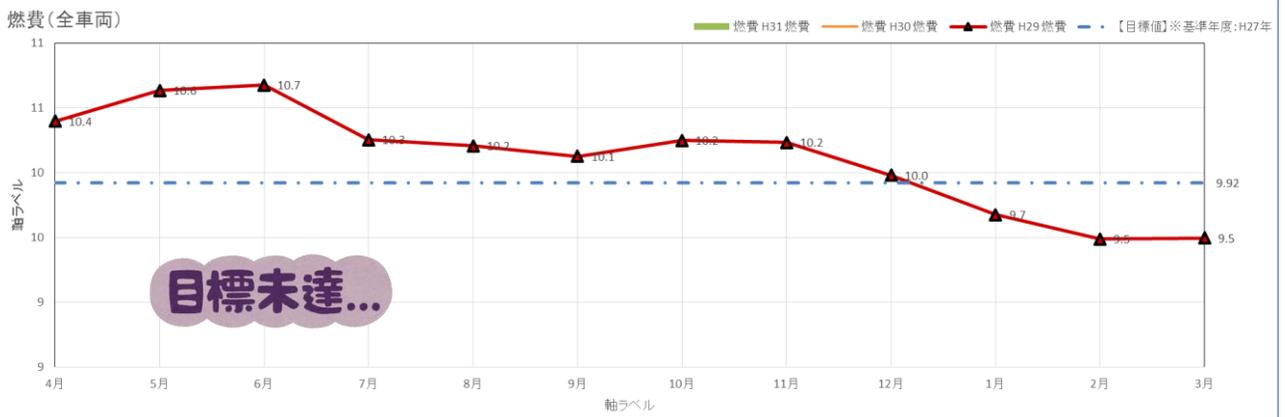
- 基準年度実績：16,366 kg-CO₂
- 取組期間目標：13,428 kg-CO₂
- 取組期間実績：5,957 kg-CO₂
- 増減量：-10,409kg-CO₂
- 増減率：-63.6%

【評価コメント】

本社59.5%減、南陽83.7%減と両サイトともに目標をクリアできました。原因と考えられるのは軽油車両3台をガソリン車両に入れ替えたことで、軽油車両台数が減ったことだと考えられます。

■ 燃費

【H29年度目標】 基準年度燃費を18%向上
 【中期目標（H28～32）】 基準年度燃費を20%向上



【取組結果】（取組期間：H29.4～H30.3）

- 基準年度実績：8.41km/L
- 取組期間目標：9.92km/L
- 取組期間実績：9.49km/L
- 増減量：+1.08km/L
- 増減率：+4.3up

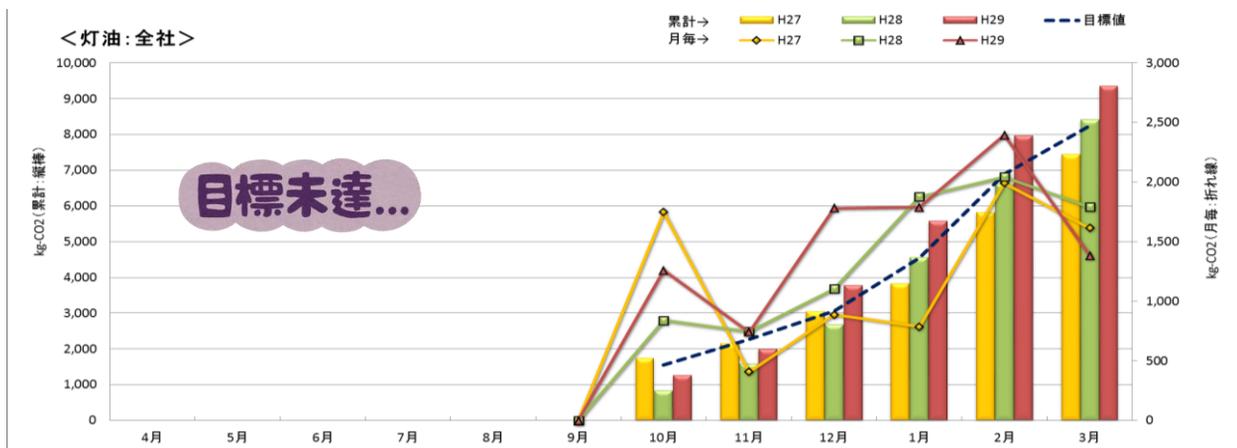


【評価コメント】

12月までは良いペースで燃費は向上していましたが、最終的には目標をクリアできませんでした。主な要因は今年の冬は降雪量が多く、それに伴い暖気運転をする車両が多かったことと、暖房の使用が増えたことと考えられます。また、冬期間に向けたエコドライブ指導をすることが出来なかったことも考えられます。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【H29年度目標】（本社）28年度比2%削減（南陽）27年度比21%削減
 【中期目標（H28～32）】（本社）28年度比10%削減（南陽）27年度比24%削減



【取組結果】（取組期間：H29.4～H30.3）

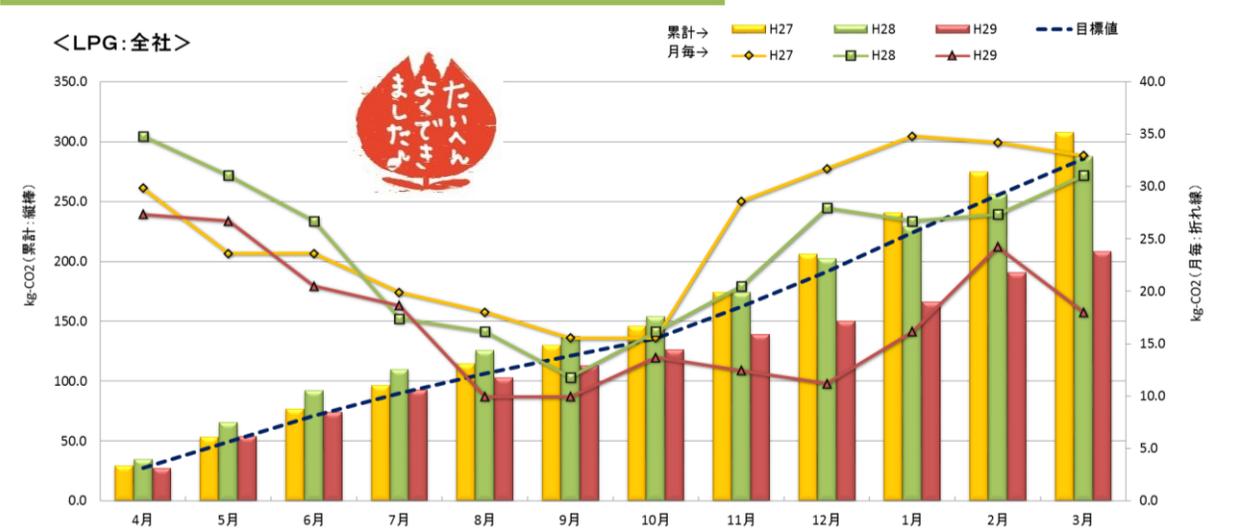
- 基準年度実績：8,779 kg-CO₂
- 取組期間目標：8,245 kg-CO₂
- 取組期間実績：9,347 kg-CO₂
- 増減量：+568 kg-CO₂
- 増減率：+6.4%

【評価コメント】

本社10.1%増、南陽6.6%減となりました。本年度も降雪が早く、寒い日が続いたため、灯油の使用量が増加してしまいました。特に本社は警備で24時間稼働しているため、冬期間の暖房使用は数値に大きく影響が出ます。一方南陽は夜間は稼働がほとんど無いため、日中の暖房温度を意識して管理することで削減につながっています。また冬期間の窓のプチプチ効果はあったと思います。

■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【H29年度目標】 H27年度比2%削減する
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減する



【取組結果】（取組期間：H28.6～H29.3）

- 基準年度実績：308 kg-CO₂
- 取組期間目標：285 kg-CO₂
- 取組期間実績：208 kg-CO₂
- 増減量：-100 kg-CO₂
- 増減率：-32.4%

【評価コメント】

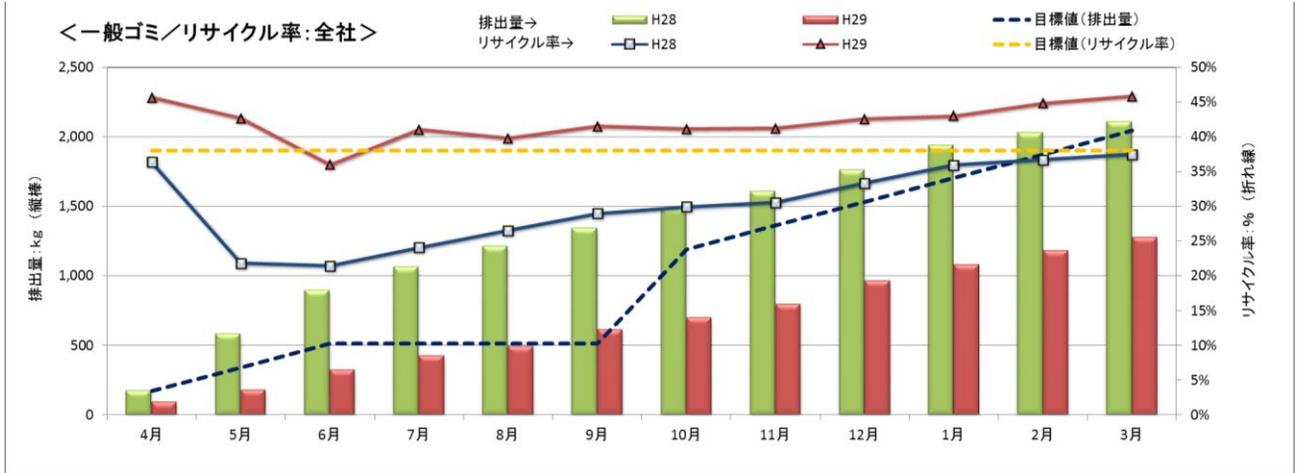
本社27.1%減、南陽36.4%減となっています。両サイトともに給湯用での使用のみですが、夏場の使用は控え、温度設定を低くするなどの対策を行いました。特に南陽はガス給湯器の使用ルールに取り組むなど、事務所あげて取り組んだ結果途中から改善され目標を達成することが出来ました。

■ 一般廃棄物排出量



【H29年度目標】 H28年度比で排出量3%削減/リサイクル率2%向上

【中期目標 (H28~32)】 H28年度比で排出量10%削減 リサイクル率14%向上



【取組結果】 (取組期間: H29.4~H30.3)

- 基準年度実績: 排出量 2,107kg
リサイクル率 36%
- 取組期間目標: 排出量 2,044kg
リサイクル率 38%
- 取組期間実績: 排出量 **1,279 kg**
リサイクル率 **46%**
- 増減量: 排出量 -828kg
リサイクル率 10%up
- 増減率: 排出量 -39%

【評価コメント】

排出量は本社947kg、南陽332kg、リサイクル率は、本社47%、南陽41%となり、両サイトともに目標を達成することができました。今年度のエコアクション21重点目標として「リサイクル率の向上」を掲げ、本社、南陽で徹底した廃棄物管理を行った結果だと思えます。特に本社は1階と2階にあったゴミ箱を1つに集約することで、ゴミの分別の監視と指導を徹底いたしました。

平成29年度EA21重点目標 「リサイクル率の向上」

- 可燃ゴミを減らす(ゴミはつぐらない・持ち込まない・持ち込ませない)
- ゴミの分別を徹底しよう(洗えば資源)
- 印刷する際は、記載ミスなどないか必ず印刷プレビューしましょう(無駄な印刷を減らす)
- 書類は個人で内容を精査し、なるべくシュレッダーにかけない(シュレッダーゴミは可燃ゴミ扱い)
- ペットボトルは自販機脇のボックスへ(本社のペットボトルのゴミ箱を撤去します)
- ペットボトルは縮めて捨てる(ゴミの容量を減らしてゴミ袋を削減)
- 研修時のお茶の持ち帰りを推奨(ゴミを減らす)
- 消耗品のリユース(ゼムクリップ・クリアファイルは循環させよう)



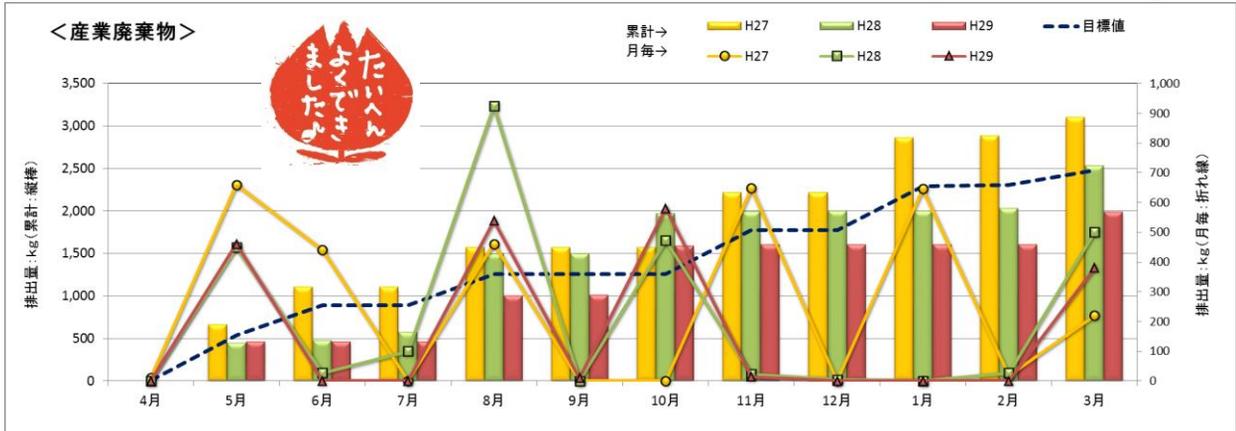
環境コミュニケーションレポートA-cology Vol.12より



■ 産業廃棄物排出量



【H29年度目標】 H27年度比20%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比23%削減



【取組結果】 (取組期間：H29.4~H30.3)

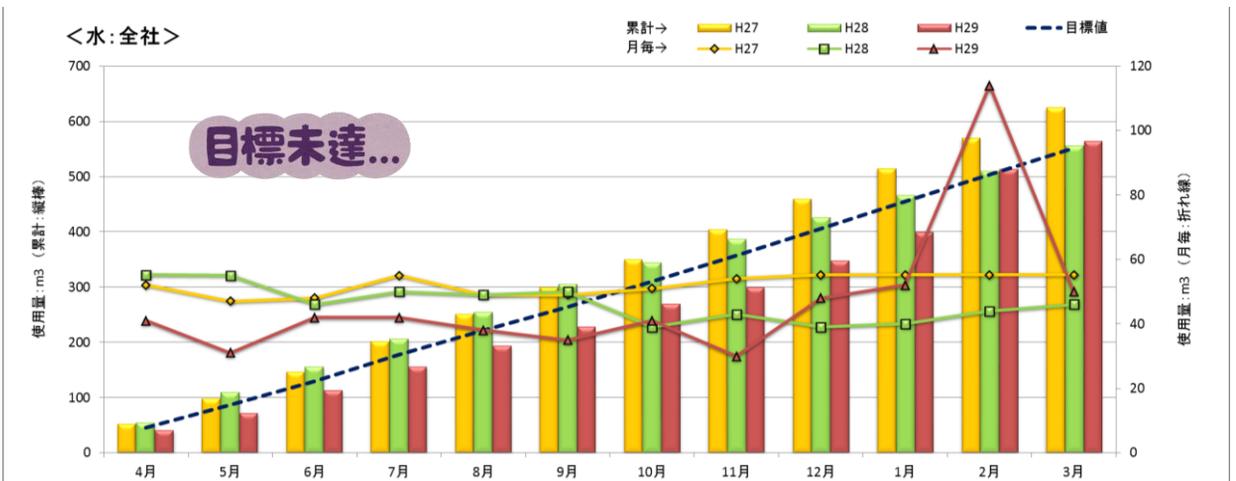
- 基準年度実績：3,103 kg
- 取組期間目標：2,482 kg
- 取組期間実績：1,984 kg
- 増減量：-1,119 kg
- 増減率：-36.1%

【評価コメント】

昨年度から取り組んでいる化学物質の少ない剥離施工に切り替えた結果、剥離汚泥の量を削減することができました。産廃発生量は業務量に比例しますが「剥離汚水処理マニュアル」に基づき、回収すべき汚水と放流可能な排水を区別して、適切に処理していきます。今年度は剥離汚水流出事故を想定した訓練を実施いたしました。

■ 水使用量

【H29年度目標】 H27年度比2%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比5%削減



【取組結果】 (取組期間：H29.4~H30.3)

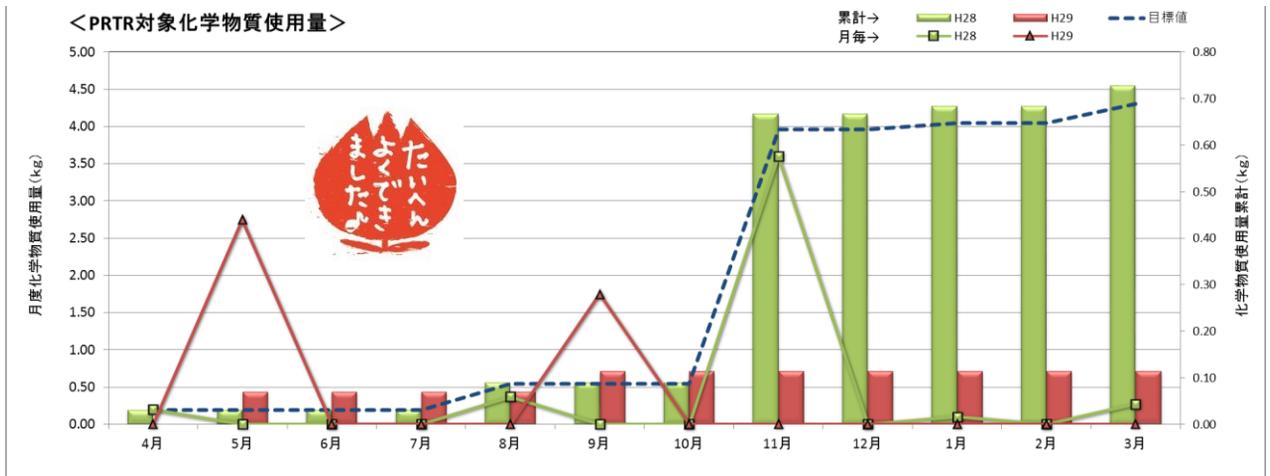
- 基準年度実績：626 m³
- 取組期間目標：552 m³
- 取組期間実績：564 m³
- 増減量：-62 m³
- 増減率：-9.9%

【評価コメント】

本社8.2%増、南陽40.5%減で、本社が足を引っ張った形となり結果目標は達成できませんでした。主な要因は冬期間低温が続いたため凍結防止のヒーターは使用していたが、それでも凍ってしまうほど寒かったため凍結防止のため水を出しっぱなしにしていた。(実際1月にトイレ配管が凍結のため破損)一方日頃からの節水意識は社員に浸透していると思います。

■ 化学物質使用量 (PRTR対象物質)

【H29年度目標】 基準年度比5%削減
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度比20%削減



【取組結果】 (取組期間: H29.4~H30.3)

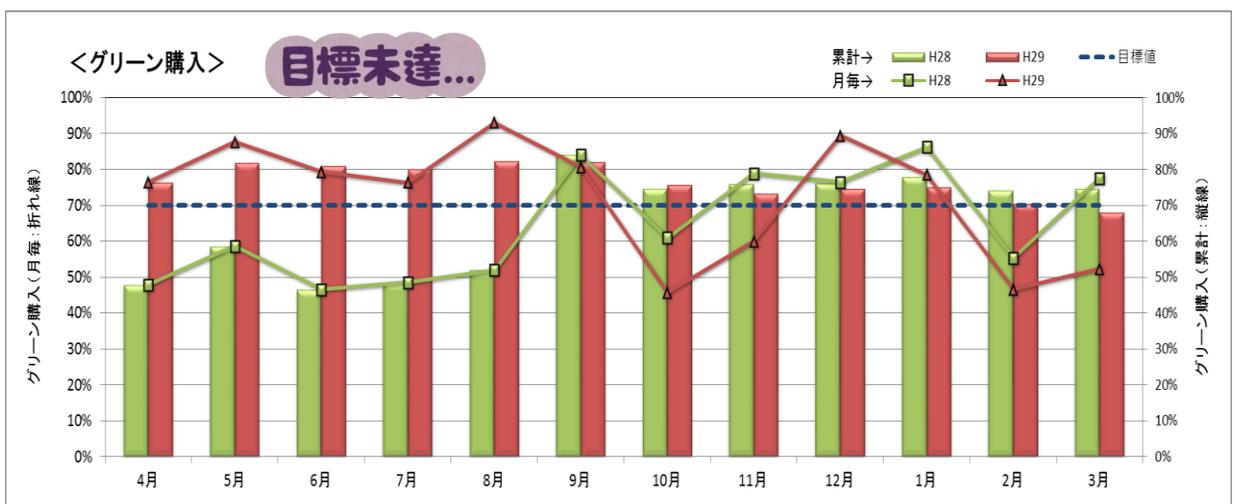
- 基準年度実績: 4.5 kg
- 取組期間目標: 4.3 kg
- 取組期間実績: 0.72 kg
- 増減量: -3.82 kg
- 増減率: -84.1%

【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤を化学物質を含まない商品へ切替を行ったため目標を大きく達成することができました。一方、一部鉄さびを除去する剥離剤や、壁洗剤 (万能洗剤) など代替洗剤が無いものは止むを得ず使用していますが、今後情報収集し、切替が出来るものから随時切替を行ってまいります。

■ グリーン購入

【H29年度目標】 グリーン購入率70%以上
 【中期目標 (H28~32)】 グリーン購入率80%以上



【取組結果】 (取組期間: H29.4~H30.3)

- 取組期間目標: 70%
- 取組期間実績: 68%

【評価コメント】

カタログを見ながらグリーン購入対象商品を優先して購入するように心がけていましたが、グリーン購入で購入できない高額な商品を購入した実績があり、結果目標を達成することができませんでした。購入金額でなく購入数であれば80%は達成できていると思います。

■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ

…スキルアップ研修会の実施

エービーエムは、経営理念として「Customer Delight (お客様感動)」を掲げ、社員の知識・意識・技術向上を目的とした研修・教育を積極的に実施しています。平成29年度から新入社員研修会を実施いたしました。

社はならびに環境方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【H29年度1人当たりの実施回数】 (延べ実施回数)

- 警備課…2回 (10回)
- 業務部…1回 (12回)
- 設備 …1回 (12回)
- その他の社員 (指定管理総務・電話交換等) …H30に実施
- 新入社員研修 1回 (4回)

毎年参加している「電話応対コンクール置賜地区大会」で3名が出場し、1名が準優勝で県大会に出場しました。



2) 誤発報による緊急出動回数の削減

…該当発生回数の把握&原因分析

【取組結果】 (取組期間：H29.4～H30.3)

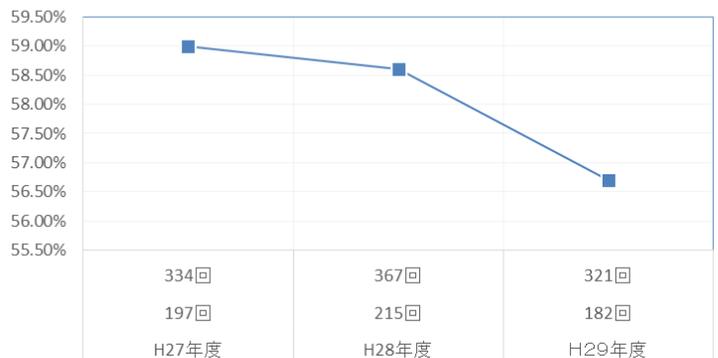
- 取組期間目標：50%
- 取組期間実績：56.7%

新規物件が増加し、全体的な出動件数が増加しました。誤発報による出動回数、出動率ともに改善が見られたものの、目標の50%には到達できませんでした。

センサーによる誤作動を防ぐために点検を実施しているが、点検時には正常であるため、出動回数を減らすことが難しく、点検時はセンサーに汚れや剝がれなど無いかよく観察するように心がけます。

一方、契約施設での人為的なミス(警備開始、解除ミス)によるものが約30%で昨年度から改善されましたが、今後、お客様に使用方法を理解してもらうための取組を推進していきます。

誤発報出動率



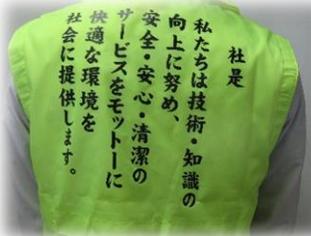
	H27年度	H28年度	H29年度
誤発報出動回数	197回	215回	182回
全出動回数(駐車場対応除く)	334回	367回	321回
誤発報出動率	59.00%	58.60%	56.70%

■ 地域の環境保全（山形エコアクション21対応項目）

【H29年度目標】会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～32）】上記を継続的に実施

地域貢献ベスト
作っちゃいました！
これをして周辺清掃
活動しています。



「山形県地球温暖化対策推進事業所登録制度」
登録証

事業者名 株式会社エービーエム

貴社を山形県地球温暖化対策実行計画の推進に積極的に取り組む事業者として登録します。

【取組項目】

- エネルギーの効率的利用及び省エネルギーの啓発に係る取組
- 設備機器等の電気管理に係る取組
- エコドライブに係る取組
- 省資源に係る取組
- 水の効率的利用及び節水の啓発に係る取組
- 廃棄物の発生を抑制する取組
- リサイクルの促進に係る取組
- 環境に配慮した物品等の購入、使用に係る取組
- 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入
- 社会取組

平成29年度及び平成30年度
健康活動の実践による健康活動
社員周辺の清掃活動
エコマップ回収活動

【取組期間】 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

平成29年12月21日

山形県知事 吉村 美栄子

ゴミが側溝に入れば、やがては、米沢を源流とする山形県の母なる川「最上川」を汚すこととなります。このことを念頭に置いて、環境方針に定める「地域の環境を保全する」ため毎月1回、会社周辺の清掃活動を実施しています。また、山形県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている環境NPO「環境ネットやまがた」に入会しました。今後、その活動を積極的に支援・協力していきます。管理している施設周辺の清掃活動も実施し、また「美しい山形・最上川フォーラム」主催のスポーツゴミ拾い大会に社員で参加いたしました。平成29年12月21日に山形県地球温暖化推進事業所に登録いたしました。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正措置の必要性等
		<評価判定の目安> ○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。 △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。 ×…未実施。50%未満の社員が取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)					
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	○	○	○	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	○	△	△	△	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	△	○	○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	△	△	△	
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	○	○	○	
	■融雪装置適正利用手順書の策定	△	△	○	○	降雪センサーによる適正使用	
	■電力使用量の見える化推進(環境負荷データの揭示)	○	○	○	○		
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修	△	△	○	○	× 是正対象
		■エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)	○	○	○	○	
		■燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)	○	○	○	○	
■5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)		○	○	○	○		
■適切な時期でのタイヤ交換		○	○	○	○		
■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■適切な空気圧の維持	○	○	○	○		
	■エコタイヤの導入	○	○	○	○		
	■不要な荷物を乗せたままにしない	○	○	○	○		
	■業務の効率化(車両運行ルートの管理)	○	○	○	○		
	■計画的な低燃費車両への入れ替え	△	△	○	○		
	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○		
■窓の内側に断熱材を貼り付ける	○	○	○	○			
■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	○	○	○	○			
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	○	○	○	○			
■窓を二重サッシにする	○	○	○	○			

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	備考、是正処置の必要性等
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■分別のルール確立と周知徹底	○	○	○	○	
		■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	△	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
の削減と適正管理	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	○	○	○	○	
		■充電式乾電池への転換	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
		■委託先の状況確認					H28実施 次回は30年度
の削減と適正管理	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	○	○	○	○	
		■対象化学物質の削減	○	○	○	○	
		■清掃方法の改善	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守				○	積雪センサーの設置
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
の購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	×	なし
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践					
の自主設定項目	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
		■機器点検の実施	○	○	○	○	
		■異常発報件数の把握	○	○	○	○	
山形EA21関連	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)	○	○	○	○	
		■会社周辺の清掃活動	○	○	○	○	

昨年度未実施だった「窓の内側へ断熱材の貼り付け」は本社、南陽ともに実施し、体感的にこれまで朝ひんやりしていた部屋もあまり寒く感じなかったのが効果があったと思われます。冬期間の車両燃費が下がったことは低気温だったことでもあります。担当者の認識不足によりエコドライブの教育研修などの教育不足だったことも否めません。また、灯油の削減目標が未達成であったことも含め、来シーズンに向けて化石燃料使用量削減に関する効率的な対策を検討し実施するよういたします。

<次年度以降の取組の概要>

平成29年度未達成の項目については、原因を追究し早急に対策を講じてまいります。特に灯油、ガソリンなどの化石燃料使用量の削減については、ソフト面(社員教育)とハード面(施設の改善)の対策を講じてまいります。平成30年度からいよいよ指定管理施設が対象サイトに含まれますが、施設ごとに部門担当者を定め、施設の特徴や契約形態など状況に応じた取り組みを策定し、実施してまいります。



今年も本社、南陽ともにグリーンカーテンに挑戦しました。南陽はこのとおりびっしり窓を覆うほどのまさに「緑のカーテン」が完成しました!!
(本社は残念な結果に、来年こそは!)

米沢市児童会館(指定管理施設)は、毎年、「エコキャップ推進運動」に取り組む山形銀行米沢西支店にペットボトルキャップを寄贈しています。来館者、エービーエム社員などから集められたキャップは78,000個(ワクチン27人分)になりました。



5. 指定管理施設の環境負荷について

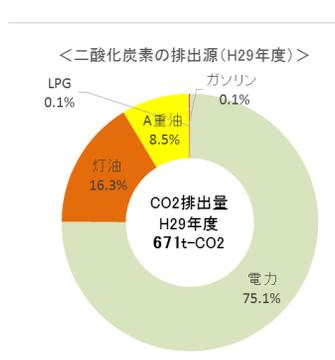


5-1. 環境負荷の現状(平成29年度環境負荷自己チェック結果(指定管理)より)

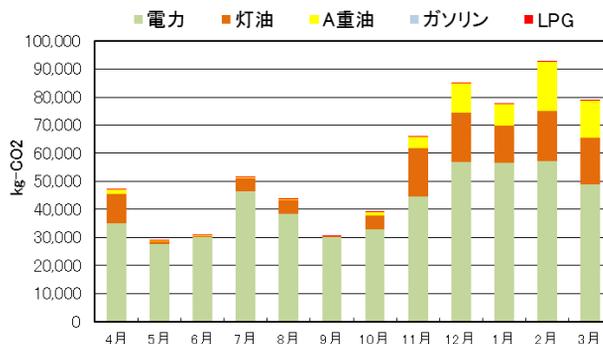
■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

- 1) 指定管理施設における平成29年度のCO₂排出量は合計671,803kg-CO₂となっており、これは平均的な一般家庭132軒分の排出量に相当します。
(平成27年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,920kg-CO₂/出典:温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 指定管理施設から排出されるCO₂の75%は電力の使用に伴うもので504,498kg-CO₂、ついで灯油の消費に伴うものが16.3%、109,181kg-CO₂、A重油の消費に伴うものが8.5%、57,010kg-CO₂などとなっております。
- 3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油、A重油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっております。
- 4) 月別のCO₂発生量は7月、8月の夏期間と12月～3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、冷暖房用空調機の使用や融雪用地下水引き上げポンプの稼働に伴い電力消費量が増加することや、暖房として灯油やA重油の消費量が増加するためです。
- 5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題となりますが、指定管理施設のように施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。



<月別二酸化炭素排出量(H29年度)>



■ 廃棄物排出量

- 1) ■一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、4,598kg、次いで紙類(再生資源)が3,016kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が2,363kgと約80%を占めています。リサイクル率は42.3%でした。
- 2) ■産業廃棄物:総排出量の89%が汚泥でした。特に置賜総合文化センターの汚泥が99%を占めています。次に多かったのは、廃蛍光灯で約10%でした。米沢市児童会館のようにLED化が進行していない施設から、特に米沢市営体育館が54%を占めていました。次に多かったのは廃乾電池で約1%でした。

■ 総排水量(水使用量)

市営体育館、文化センターで融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。総合計6,317m³使用しました。なお、放流先は全て下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成29年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

なお、中間審査時において本社駐車場にある業務倉庫前のグリストラップ内水が白濁していることを指摘されましたが、後日水質検査を実施し、特に問題はありませんでした。定期的に水質検査を行うとともに、水槽内の清掃を実施いたします。

- 環境基本法等：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成28年12月2日にエコアクション21の認証登録を受けて、早1年以上が経過し、エコアクション21推進委員会を中心に取組が行われ、初めての間審査も大きな指摘事項はなく無事に終えることができました。平成29年度取組の結果については、当社で最も環境負荷の大きいガソリン使用量が残念ながら増加してしまいましたが、気候による影響もあったように感じる反面、平成28年度取組の反動が出てしまったようにも感じます。また、冬期間暖房に使用する灯油の使用量が増加し、平成28年度に引き続き目標を達成することができませんでした。考えられる要因として、今シーズンも降雪が早く、寒い日が続いたことが考えられます。平成28年度に実施できなかった「窓ガラスに断熱シート」を貼るなど対策を講じましたが、今後は「窓の二重サッシ化」などハード面での対策も必要であると考え、来シーズンこそは、効果的な対策を模索し、リベンジを果したいと思っています。一方、ゴミの排出量及びリサイクル率は、平成29年度の重点目標として取り組んだ結果、大きな改善が見られました。

平成30年度から全指定管理施設がエコアクション21に組み込まれることから平成29年度は各施設で環境負荷集計を行いました。当社や南陽と違い、電気使用量が大きな割合を占めていることがわかりました。施設の特徴や契約形態を加味した目標を定め、施設環境管理責任者を中心とした実施体制を構築し取り組み、お客様の環境負荷削減に貢献することによりエービーエムの企業価値を高めてまいります。また平成30年度は初めての更新審査を迎えますので、エコアクション21推進委員会を中心に準備を進め、経営側としてしっかりと支援してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明



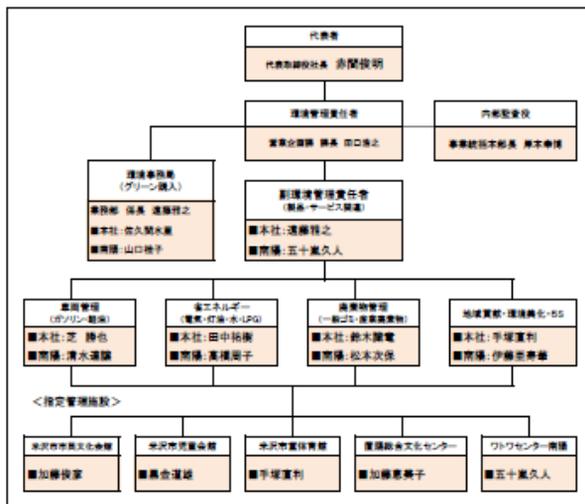


EA21推進委員会新体制が判明!!

無事エコアクション21を認証取得したエコアクション21推進委員会ですが、平成29年度、新たなチャレンジのため新体制で臨むことになり、先日新体制が発表になりました。これまで、環境管理責任者でありました岸本本部長が、内部監査役に、その後任として事務局の田口課長が環境管理責任者になりました。新しく環境管理責任者になった田口課長曰く「責任重大であるが、エコアクションの新たなチャレンジのため、全身全霊をもって任務を全うしたい」とのことでした。

事務局には業務課遠藤係長が就任し、本社事務局担当として経理の佐久間水里さんが、各部門の委員に廃棄物管理部門の本社担当に鈴木識竜主任が、そして地域貢献等部門に南陽担当に伊藤亜寿華さんがそれぞれ新たに選出されました。

なお平成29年度から指定管理施設もこのプロジェクトに参加、平成29年度は環境負荷のデータを取り、平成30年度以降エコアクション21の本格的な取組を進めることが決まっております。米沢市営体育館からエコアクションの取組をスタートし、徐々に取組施設を増やしていくことも発表されました。



平成29年度からの新体制。新たに指定管理施設が体制に加わった。

エービーエム環境コミュニケーションレポート

地域貢献ベスト完成!

エービーエムでは、地域貢献活動として指定管理施設の周辺清掃を実施しております。実施するだけでなく、せっかくなら会社のアピールにつながればと考えて、名づけて「地域貢献ベスト」を作りました。これを地域貢献活動の時や施設のイベントで着用し、エービーエムをさりげなくアピールできると思います。またベストなので、冬場でも防寒着の上からも着ることができるので、本当にベスト!です。

さっそく、8月某日、指定管理施設とナセBA勤務スタッフとこのベストを着て米沢市営体育館と置賜総合文化センターの周辺清掃を行いました。早朝にも関わらず多くのスタッフに参加していただきました。歩道の目地から生えている雑草を取ることで道路もすっきりしました。この活動は指定管理やナセBAだけでなく誰でも参加いただけます。日頃の運動不足解消にもってこいの活動ですので、お近くのエコアクション21委員へお声掛けください。



地域貢献活動の様子



エコをイメージした爽やかなグリーンカラー
胸元にはエービーエムロゴマーク



背面には社是が入った斬新なデザイン

EA21推進委員会座談会!

家庭で出来るエコアイデア編

株式会社エービーエムでは、エコアクション21推進委員会を毎月1回、開催しております。委員会では本紙の内容や、年間目標の達成状況などを話しあっております。委員会ですが、時々話しが大きく広がることもあり、議事録担当者はとても大変です。そんなベールに包まれたエコアクション21推進委員会の様子を少しのぞいてみましょう。

- (A) 家庭で取り組んでいるエコって何かありますか？
- (B) うちでは、フードロス無くすために、冷凍ご飯をチャーハンにしたり、賞味期限切れを防ぐために冷蔵庫の前の方にやったりしています。こないだは母がたまご一つ一つにふせんに購入日を書いて貼っていました。
- (A) ふせんがもったいないような。Bさんちは徹底していますね。
- (C) 風呂の残り湯を洗濯に使うことをしているが、Bさんの家は、お父さんが入ったあとのお湯は使わないのでしょ？
- (B) 母が「絶対嫌だ」と。(一同笑い)
- (A) 最近の高い洗濯機は風呂の残り湯を使って洗濯し、最後はきれいな水を使ってすすぐって。実はうちも洗濯機が壊れて、最高級のせんた・・・
- (D) それはそうと、時計で使っている電池は、実はまだ結構使えてうちではリモコンなどの電力消費量が低いものに再利用しています。
- (A) そうなんですね。ところで、うちの最新の洗濯機はお湯で・・・
- (C) そういえば、トイレトーパーの設置位置は、右側につけるより、左側についている方が使用量が断然少ないだって。(一同へ～)
- (C) 家庭の電力自由化あまり普及していないようだけど、どうなんだろう？
- (E) 実際どれだけメリットがあるか、あと携帯会社と運動しなければいけないし、ぶっちゃけ面倒くさい
- (C) やってみて報告してくださいw

A-cology(えーころじー) から・・・

地域貢献活動レポート!!

山形エコアクション21の目標項目の一つである「地域貢献」について、報告します。

その1 WAKU WAKU WORK 米沢 in 米沢中央高等学校

参加者：本社業務課 遠藤課長、鈴木MG、志摩副主任

開催日 平成29年11月16日(木) 13時～

米沢中央高等学校において、米沢商工会議所主催の高校生職業体験「WakuWakuWork米沢」に参加して参りました。今回は、窓ガラス清掃を選びました。私達自身、高校生への職業体験というものは初めてで、今回をきっかけに清掃の楽しさを味わって頂く良い機会になったのではないかと思います。後日、中央高校から体験者全員の感想文を頂きました。「楽しかった」「キレイにするのが気持ち良かった」「年末大掃除でやってみます」などの声に大変うれしさを感じています。米沢市全体の人材確保に繋がればと思いますので、是非、今後も、企業として参加し、貢献して行きたいと思っております。



校舎の窓ガラスを使って清掃体験

その2 米沢養護学校 職業体験 in 米沢市児童会館

参加者：業務部今井部長、児童会館 川崎敏子さん

開催日 平成29年11月24日(金) 10時～

米沢市児童会館で米沢養護学校の生徒のみなさんに対して職業体験指導をしました。この活動は高等部の生徒が職場見学や体験を通じて、働く方たちの様子や心構えを見聞きし職業観を学んだり、自分の将来を考えたりする機会として、今回初めてのオファーがあり、実現しました。内容は清掃業務で最初は慣れない手つきでダスタークロス掛けなどに挑戦した学生でしたが、徐々にコツをつかんで最後は綺麗な八の字を書いてゴミを回収するまでになりました。後日、学生からエービーエムに対してお礼状をいただきました。



講師の話をみんな真剣に聞いています

今月のECO目標

A-cologyから

今年も目標いくつ

春の掃除、窓開けて、リフレッシュ (不要なものはリサイクルしよう。)

お天気の良い春の日は何をしても気持ちのよいもの。うららかな陽気は掃除をするにもぴったりですね。欧米諸国の家庭においては春から初夏にかけてが大掃除のシーズン。日本では年末にするのがあたり前の大掃除ですが、国によってその時季も考え方にも違いがあるようです。冬場フル回転だったエアコンのフィルターはもちろん、室外機、換気扇をお掃除すればエコですし、気持ちの良い風を窓を開けて取り入れると気分もリフレッシュできますね。また、大掃除して出た不要物は、ゴミとして廃棄するのではなく、O-ドオフや、O-ディンなどリサイクルショップでリサイクルを。また不要になった洋服なども今はOニクロやO&Mなどに持っていきリサイクルが出来ますよ。春は心も体もそしてお家もすっきりしましょう!!!

町の清掃活動に参加しよう (地域貢献活動)

気持ちの良い季節になりました。雪はもちろんですが桜も落ちてきて5月は町内の公民館清掃活動や側溝の泥取り作業も本格化してきます。そこで今月のエコ目標は「町の清掃活動に参加しよう」です。エコアクション21の取り組みの一つとして「地域貢献活動」がありますがエービーエムでは月1回の社屋周辺の清掃活動の他、指定管理施設の周辺清掃などを行っています。エコアクション21と町内の清掃って一見関連性がないような気がしますが、町内のゴミを拾うことでゴミが減り、これまで風などで飛ばされて川を汚染していたゴミを減らすことができます。将来的には山形県民の母なる川最上川の環境を守ることになるという壮大なテーマが隠れているんですね。

ライトダウンキャンペーンに 参加しよう

環境省では、2003年から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消していただくよう呼び掛ける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施してきました。本年も6月21日から7月7日までの間、「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施するとともに、6月21日(夏至の日)と7月7日(クールアース・デー)両日の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、照明の一斉消灯を呼びかけております。そこで各家庭でもちょっとしたエコの取り組みとしてライトダウンやってみましょう。もしかすると普段より月がきれいに見えるかも。

古風なエコにチャレンジしてみよう

江戸時代の電気のなかった時代の自然なライフスタイルは夏を快適に過ごすヒントになりそう。例えば「風鈴」、涼しげな音を響かせてくれます。また「よしず」や「すだれ」に霧吹きやジョウロを使って水をかけてやると適度に水を吸い取り、水が蒸発する気化熱で外気より2、3度涼しい風が入ってくるそうです。また、「よしず」はブラインドやカーテンと違い、窓の外に設置するので熱がこもらないというのも大きなメリットです。江戸時代の人は夕方には仕事を終え、日没までに夕食を食べて入浴し、夕涼みをして過ごしていたようです。たまにはエアコンを切って、窓を開けて、「うちわ」でゆらゆら扇ぎながら夜風に当たってみませんか?

待機電力を意識して省エネしよう

電化製品は、使用していない時にも通電して、わずかながら電力を消費しています。この電力を待機電力といい、電気代の5~10%を占めるとも言われております。テレビや電子レンジ、家庭には様々な電化製品がありますが、実は最近の家電は待機電力がほとんどかからないそうで、逆にテレビやレコーダーはコンセントを抜くと余計電力がかかる可能性が高いそうです。というのも、テレビ表を受信時に90円ほど電気代がかかるそうです。調査によると待機電力が大きいのはエアコンで、付けた時ちゃんと稼働するように「待機」状態になっています。また、パソコン、ゲーム機は大きいそうです。我が家でもスマホが普及してほとんどパソコンは使わなくなっているのにコンセントを抜いて少しでも省エネしたいと思います。

フードロス無くそう!



フードロスとは、人が食べるためにつくられた食料が、失われたり捨てられたりしてしまうことを指します。世界で生産される食料のうち、1/3が廃棄されているといわれ、その量年間約13億トンです。世界のフードロスはその1/4を解決するだけで、世界の飢餓人口(7億9,500万人)が丸々養えるほどの量なのです。フードロスは水や土地、エネルギー、労働力など、自然資源の浪費を促すだけでなく、不要な温室効果ガスの排出を引き起こし、地球温暖化および気候変動に影響を与えています。フードロスにより排出される温室効果ガス(二酸化炭素換算)は、約33億トン。「世界のフードロスがひとつの国だったら」と換算するとその国は、アメリカ、中国に次いで3番目の温室効果ガス排出国となります。フードロスチャレンジいつするの? 今でしょw

体も省エネ(食欲の秋、スポーツの秋)

食欲の秋といわれるくらい、秋は旬のおいしいものがそろい、つい食べ過ぎてしまい、おなか周りにエネルギーを蓄積しがち。秋刀魚、芋煮と考ただけでもおなかがあふんとなってしまいます。でもそんな時こそ、暴飲暴食を控えて、体を省エネしませんか。秋は涼しく、スポーツの秋というぐらいですから。ウォーキングやジョギング?何でもOK。エービーエムでは体育館やワトワセンターなどスポーツ利用に適した施設を管理しており、スポーツプログラムも多数実施しています。ぜひ一度体育館やワトワセンター即利用してみたいかが?ちなみに、ワトワセンターのスポーツプログラムではエービーエム社員や御家族はお得に参加いただけますよ!!



達成できたかな？

寒い冬だからこそアウトドア(外出)しよう!!



今年の冬は予想通りの厳しい冬になりました。財布の中身も凍えそうな冬を乗り切るため、あえてEA21推進委員会は上記のような目標を掲げてみました。冬にしか出来ない遊び(スキーやスノーボード)もありますが、何も車に乗って外出しなくても近くの公園に出かけたり、庭で遊んだりして外出しましょう。あとは、毎日の除雪作業中にストレッチしながら体幹を鍛えたりするのもいいかもしれません。童心に家族みんなで雪合戦、めっちゃくちゃ楽しそうじゃないですか？体を動かすことによって、体ポカポカになりますし、家に居ないので、暖房代も節約できるかもしれません。そして熱くなった体を、雪で冷やしたビールを飲む、くっ、最高です。

断熱グッズを活用して省エネしよう!!

11月に入り山ももうすっかり白くなり厳しい冬が間もなくやってくるような気配です。寒くなるといよいよ暖房を使うようになり、電気代、灯油代がかさんで懐具合も寒風が。お家の断熱効果をアップさせ暖房効率を良くすることが、電気や灯油の使用量を抑えることが出来ます。サッシを二重にしたり、床下に断熱材をいれたりする本格的な断熱リフォームも良いですが、ガラス面に断熱効果のあるシートを貼ったり、保温シートを床に敷くだけでも断熱効果がアップします。なお、ガラスによっては熱割れしてしまうガラスもあるようなので、使用方法を十分確認してください。断熱しようとしてガラス割れてしまったらもともこうもないですからね。



寒い冬だからこそ省エネしよう!!

12月に入り、冬将軍が「本気」出してめっきり寒くなってきました。少し工夫をすることで省エネにつながるようにEA21委員会で省エネアイデアを考えてみました。

- ①家族みんなが一緒にいれば省エネということでみんなでコタツ
 - ②ロールカーテンなどで暖房エリアを制限
 - ③シャワーを有効利用と、足元ひんやりを防ぐため、洗面器を置く
 - ④車のフロントガラスに毛布をかけて暖気時間を短縮
 - ⑤エコキュートの沸き上げ温度を高めに設定(50度)
- 本当に省エネになるかは、保障できませんが、意識を持つことが一番の省エネだと思います(判)

乾燥するから意識して加湿しよう!!



冬は乾燥の季節、エアコン暖房が主流になり、部屋の湿度が低くなりがち。冬季に大流行するインフルエンザを引き起こすインフルエンザウイルスの生存率は湿度と密接な関係があるそうです。また加湿をすると体感温度も上がり、暖房の設定温度も下がるのでは、ということで、加湿器なくても加湿できる方法をご紹介します。

- ①洗濯物を部屋干し
- ②観葉植物を置く
- ③洗面器などに水を入れておく
- ④濡れたタオルを干す
- ⑤霧吹きで部屋に水を撒く
- ⑥鍋をする
- ⑦風呂場の扉を開けておく・・・いかがでしょうか。加湿器がなくてもいろいろ方法があります。体調管理だけでなく、エコにもつながる。さあ、今日は体も芯から温まる鍋にしませんか？

ゴミを減らすためにマイ箸を活用しよう



コンビニで弁当買うとき毎日のように割り箸を使っていますか？「割り箸は間伐材だから、森林破壊にならない」という話もありますが、林野庁のデータによると実際は、97%が輸入材、大部分が中国産なのです。現在、全国で消費されている割り箸は、年間257億膳といわれています。これは2階建木造住宅に換算して、およそ2万棟分にあたる木材量です。最近、一般市民の環境への関心が高まっていることや、世界中での日本食ブームなど、さまざまな要因が考えられますが、義務感ではなく日常で気軽に、おしゃれに実践できるエコなライフスタイルとして広く支持されています。漆の塗り箸、竹箸、携帯つなぎ箸など、まずは自分の好きなお箸選びをしてみませんか？たった1回使って捨てられてしまう割り箸から、マイ箸へ。それもCOOL CHOICE! (一部 ~世界が変わる~Makuro life 参照)

社有車 E-1GP 2017-2018



6月	燃費	車種	所属	先月
1位	16.7km	ホンダフィット	設備管理部	2位
2位	16.3km	日産デイズ	業務部	1位
3位	13.5km	日産パトロール	設備管理部	4位
4位	13.4km	トヨタプロセッサー	営業	5位
5位	12.9km	日産モコ	営業	6位

毎回熾烈なトップ争いを行っているホンダフィットが日産デイズを抑えついに1位に輝きました。通常の月の倍以上走行しており、長距離運転が燃費向上の要因だと思えます。また3位以下は一つずつそれぞれ順位を上げております。5位以下ですが、6位に南陽マーチが入ってきており、徐々にランクアップしており来月ランクインするか期待が膨らみます。7月もE1グランプリをお見逃し無く。

熾烈なエコカーレースを制したのは...



H29エコドライブオブザイヤー!

平成29年度で一番エコドライブをがんばった車に送られるエコドライブオブザイヤーが決定いたしました。昨年度と違うのは、燃費ではなく、昨年度の燃費と比較した燃費向上率で順位をつけました。つまり、燃費が良い車も悪い車もエコドライブ次第で上位に入ってくる事が出来るんですね。そんなH29年度のエコドライブオブザイヤーに輝いたのは・・・南陽営業所 嶋津優美さんです。そして第2位は企画・人事部 田口部長です。第3位は設備管理課 近野課長です。近野課長は昨年に続いて3位でした。

	種別	登録年月日	車両担当者	H28年度燃費	H29年度燃費	燃費向上率
1位	日産マーチ	平成18年3月	営業所 嶋津 優美	10.15	11.08	109.2%
2位	トヨタ°味°ワス	平成21年10月	企画・人事 田口部長	12.39	13.07	105.5%
3位	スバル°ワゴン	平成17年5月	設備管理課 近野課長	12.98	13.12	101.1%
4位	ホンダ°シャトル	平成28年1月	設備管理部 斎藤部長	14.25	14.29	100.3%
5位	ホンダ°軽ワゴン	平成23年8月	業務部 志摩副主任	11.39	11.28	99.0%
6位	トヨタ°ワゴンE	平成17年6月	営業所 五十嵐所長	7.69	7.6	98.8%
7位	日産モコ	平成17年1月	岸本本部長	11.79	11.58	98.2%
8位	日産°ワゴン	平成27年2月	業務部 今井部長	14.94	14.34	96.0%
9位	スバル°ワゴン	平成18年1月	児童会館 加藤館長	11.73	11.23	95.7%
10位	スバル°ワゴン	平成11年2月	本社業務課 運沼副主任	7.43	6.84	92.1%

1位：嶋津優美さんのコメント 暑い場合は窓を開けたり、寒い場合は自分が着込んだりと、そこまで空調に頼らなかつた。代務が多くなったことで、清掃従業員がバラバラの現場に動いていたため、平成28年度に比べ、マーチで長い距離を走る機会が増えたために燃費が向上したと思う。

2位：田口部長のコメント アイドリング時間を減らす努力をしました。目的地に着いたら、すぐエンジンを切ることを心がけました。また冬期間は暖気を最小限にして、暖房もダウンコートを着て極力使わないようにしました。

3位：近野課長のコメント：暖気を極力控えたことや、中間期（春や秋）は窓を開けたりして冷暖房をかけないようにしました。

安全も衛生も環境も・・・「三方良し」

社長賞

『妻の顔 ちらちら見ながら 危険予知』
川柳 村岡 聡



会長賞

『安全安心築くのは 知識と努力の基本作業 それを支える向上心』
安全衛生標語
米沢市立病院勤務 上林直子



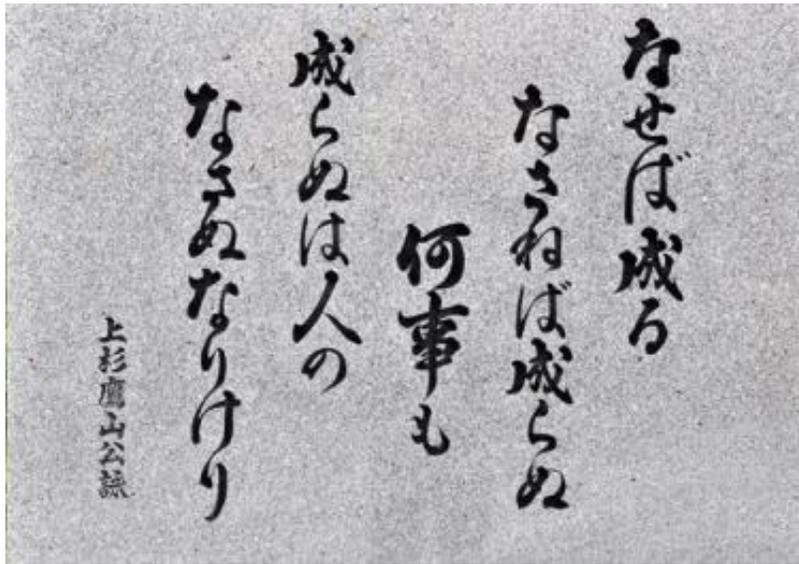
安全点検の日ポスター
最優秀賞
米沢市市民文化会館勤務
数間淳祐



セーフティ
ファースト
(株) エービーエム発行
安全衛生委員会広報誌
第33号

安全衛生面で配慮された職場は
作業効率も働く人のモチベーションも
高く、環境にもやさしい職場です。





この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
弊社HP (<http://www.y-abm.co.jp/>)、エコアクション21中央事務局
のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2
TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
Email : sale@y-abm.co.jp

